

第九十回
帝國議會
貴族院

商工協同組合法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案 ○商工協同組合法案

委員氏名
委員長
副委員長

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 男爵肝付 兼英君 | 子爵柳澤 光治君 | 侯爵大久保利謙君 | 侯爵佐竹 義榮君 | 伯爵清閑寺良貞君 | 子爵交野 政邁君 | 子爵島居 忠博君 | 子爵京極 高銳君 | 中田 薫君 | 吉田 久君 | 男爵奥田 剛郎君 | 男爵鶴殿 家勝君 | 男爵田中 龍夫君 | 結城 安次君 | 石川 一郎君 | 高橋龍太郎君 | 奥 主一郎君 | 秋田 三一君 | 橋本萬右衛門君 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|

昭和二十一年九月三十日(月曜)
日)午前十時五十九分開會
○委員長(男爵肝付兼英君) ソレ
デハ只今カラ商工協同組合法案ノ
特別委員會ヲ開會致シマス、開會
ニ當リマシテ商工大臣カラ本法案
ノ御説明ヲ承ルコトニ致シマス
○國務大臣(星島二郎君) 商工協
同組合法案ニ付キマシテハ、先刻

本會議ニ於キマシテ申上ゲマシタ
ヤウニ、中小企業振興ノ重要ナ一
方策ト致シマシテ、中小企業ノ自
主の組織化ヲ圖リマス爲ニ、戰時
統制經濟ノ殘滓タル統制組合及ビ
施設組合ノ制度ヲ廢止シ、之ニ代
ツテ新タニ民主的商工協同組合制
度ヲ設ケヨウトスルモノデアリマ
ス、御承知ノヤウニ中小企業ハ其
ノ性質上其ノ簡易ナ設備ト、勞務
管理ノ徹底等ニ依リ、經營ガ彈力
性ニ富ムト云フ利點ガアルノデア
リマスガ、其ノ反面資金ノ小規模
ナ關係上、金融ノ利便ガ少ク、從
ツテ設備ノ改善、技術ノ向上等ト
云フ方面ガ甚ダ不十分デアリ、又
眼前ノ利害ニ捉ハレテ無統制ナ競
爭ニ陥リ易ク、業者個人經營ニ打
撃ヲ與ヘルノミナラズ、其ノ事業
一般ノ健全ヲ發達ヲ阻害スル弊モ
少クナイノデアリマス、從ツテ先
ヅ中小企業ノ組織化致シマシテ、
關係業者ノ緊密ナ自主的協同ノ力
ニ依ツテ、其ノ合理化、能率化ヲ
圖ルト共ニ、大局の見地ヨリ中小
企業家ニ適切ナ指針ヲ與ヘ、其ノ
進路ヲ誤ラセナイヤウニ指導致シ
マスコトガ、是非トモ必要ナ次第
デアリマス、現行ノ商工組合法ハ
統制團體トシテノ性格ヲ持チ、戰
時經濟統制遂行ノ便宜ヲ圖ル爲
ニ、組織化ヲ狙ヒト致シテ居リマ

シテ、直接中小企業ノ振興、向上
ヲ圖ル爲ノ組織化ヲ目的トシテハ
居ナイノデアリマス、此ノ點ニ於
テ既ニ戰後ノ新經濟情勢ニ相應シ
クナイト申サナケレバナリマセヌ
ガ、更ニ具體的ニ御説明致シマス
ト、第一ニ其ノ運用方法デスガ、
理事長ガ原案執行權、役員任免權
ヲ持ツト云フ例ニモ明カデアリマ
スヤウニ、理事長ヲ中心トスル指
導者原理ヲ基調ト致シテ居リマシ
テ、總會ノ權限ガ非常ニ弱ク、組
合員ノ總意ガ輕視セラレテ居リマ
ス點、第二ハ設立ニ付テハ、政府
ノ命令ニ依リ強制設立ノ制度ヲ認
メルト共ニ、組合員ハ當然加入制
トナツテ居リマシテ、脱退ノ自由
ハ認メラレナイ、解散モ政府ノ命
令又ハ認可ガナケレバ出來マセヌ
等、組合員ノ自由意見ガ著シク束
縛セラレテ居リマス點、第三ハ組
合ハ、組合員ニ對シテハ統制規程
ニ依ツテ法令ニ依ル場合ニ劣ラヌ
位ノ強力ナ統制權限ヲ有シテ居
ル、經費、過怠金等ニ付テハ強制
徵收權ヲ有スル等、強權的色彩ガ
強イ點、第四ハ從ツテ又政府ハ組
合自體ノ設立、解散ノ命令權ヲ始
メ、役員ノ任免權、各種ノ認可權
等煩瑣ニ近イ監督權ヲ留保シテ居
リマス點等、戰後經濟民主化ノ線
ニ沿ヒマシテ、組合員自體ノ發意

ニ依ル自主的ナル團結ニ依リマシ
テ業界ノ組織化ヲ云フ要望ト
ハ相去ルコト遠イモノガアルノデ
アリマス、他方施設組合ハ中小企
業ノ共同經營組織體デアリマシ
テ、比較的現下ノ要望ニ適スルヤ
ウニモ考ヘラレルノデアリマス
ガ、施設組合ハ沿革的ニハ舊商業
組合法、工業組合法ノ小組合法ノ
系統ヲツグモノデアリマシテ、極
ク小規模ナ業者ノ統合體トシテ利
用セラレ、検査事業等モ行ヘヌコ
トニナツテ居リマスノデ、今回施
設組合ノ制度ヲ擴充致シマシテ、
中小商工業者ノ純粹ナ協同組織ト
シテノ民主的ナ新組合制度ヲ作ル
コトト致シタノデアリマス、以上
ノ説明ニ依リマシテ、大體明カニ
ナリマシタコトト思ヒマスガ、此
ノ法律ニ依ツテ設立セラレマス商
工協同組合ハ、商業、工業又ハ鑛
業ヲ行フモノガ自由ニ寄り集ツ
テ、其ノ事業經營ノ合理化ヲ圖ル
爲ニ必要ナ共同施設ヲ行ヒ、延イ
テハ當該産業ノ改良發達ニ寄與ス
ルコトヲ目的トスル協同組合デア
リマシテ、從ツテ設立、加入、脱
退、解散等ハ總テ組合員ノ意思ニ
委ネラレテ居リマス、組合ノ運
營ニ付キマシテモ、此ノ法律ノ中
ハ公益上必要ナ最少限度ノ規定ヲ
置クコトニ止メ、他ハ役員ノ任

免、經費ノ徵收等總テ總會ヲ中心
トスル組合員ノ自由意志ニ基キマ
シテ民主的ニ運営スルコトトシ、
組合員ノ創意ト責任ニ於テ極力其
ノ民主化ヲ圖ルコトトシタノデア
リマス、從ツテ行政官廳ノ監督規
定モ必要ナ最小限度ニ止メマシ
テ、必要ニ應ジ變轉スル經濟狀
態ト各業界ノ實狀ニ即スル事實上
ノ行政指導ニ依リマシテ組合ノ健全
ヲ發達ヲ圖リタイト存ジテ居リマ
ス、又組合自體ノ自治的指導連絡
機關トシテ商工協同組合中央會ヲ
法定致シマシテ、中央會ニ依リ組
合經營ノ實務指導ヲ更ニ一層活潑
ナラシメタイト存ジテ居リマス、
最後ニ商工組合ニ依リ統制組合
ハ、戰時中ノ殘滓ヲ一掃スル意味
ニ於キマシテ此ノ際全部解散シ、
新タナル構想ニ基イテ再出發スル
ト云フコトニ致シマシテ、新機構
ハ移行ノ一線ヲ劃シマスルト共
ニ、施設組合ハ其ノ性質上當然新
法ニ依ル協同組合ト看做スコトニ
致シタイト考ヘテ居リマス、商工
協同組合法案ノ内容ハ大體以上
ノ通りデアリマスガ、衆議院ニ於キ
マシテ若干ノ修正ガアリ、政府モ
之ニ同意シタノデアリマス、尙詳
細ノ點ハ御質問ニ應ジ御答申上
ルコト、致シマス、何卒御審議ノ
上速カニ御協賛アラムコトヲ御願

スル次第アリマス
○委員長(男爵肝付兼英君) 是ヨリ質問ヲ御許シ致シマス

○國務大臣(星島二郎君) 今ノ衆議院ニ於テ修正サレマシタ點ヲチ

ヨット一言御説明致シタイト思ヒマス、此ノ組合ノ役員ヲ從來ノ統制組合ニ致シマシテモ、皆組合員外カラ所謂學識經驗者ト致シマシテ任命スルコトガ出來タノデアリマスガ、今度ノ此ノ法律デハ氣持フスツカリ變ヘマス爲ニ、從來ノ指導者原理ヲ排斥スル爲ニ全然新タナモノトナツテ居リマシタガ、衆議院デ色々審議シテ居リマス間ニドウモ矢張り或所デハ寧ロ第三者ヲ入レタ方ガ宜イト云フコトガ考ヘラレマスノデ、サウ云フ場合ニハ二名ヲ限ツテ所謂組合員外カラ選舉ラシテ、サウシテ之ニ入レルコトガ出來ルト斯様ナ修正ナンデアリマシテ、是ハ關係方面トモ色々協議致シマシテソレハ宜カラウト、斯様ナコトニナリマシテ政府モ之ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス、前後ノ事情ヲ申述ベマシテ御參考ニ供ジタイト思ヒマス
○委員長(男爵肝付兼英君) ドナタカ御發言ハゴザイマセヌカ
○吉田久君 一、二點御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、本案ニ依リマスルト云フト、第四條ノ登記ハ對抗要件、第三者ニ對スル設立ノ對抗要件ト云フコトニナツテ居リマスガ、近來ノ立法ノ趨勢ヲ見マ

スルト、設立ノ登記ハ對抗要件デハナクシテ法人設立ノ要件トスルト云フヤウニ相成ツテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ本案ガ設立ノ要件トシナイデ、登記ヲ對抗要件ト爲サレタ理由ヲ御伺ヒマス、モウツハ舊法ノ商業組合法ニ依ル所ノ組合ハ同法ノ規定ノ前半カラ窺ヒマシテ、公法人デアルト解釋サレテ居ツタト思ヒマスガ、本法ノ法人ハ公法人ニ屬スルノカ、ソレトモ、サウデナク私法人ニ止マルノデアアルカト云フコト、其ノ二點ヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

○政府委員(小出榮一君) 只今御尋ノ第一點ノ登記ノ問題デゴザイマスガ、御話ノ通り第一章總則ノ第四條ニ於キマシテハ一般的大規定ト致シマシテ登記ノ規定ヲ置イテ居ルノデゴザイマスガ、設立ノ場合ノ登記ノ問題ニ付キマシテハ、第十一條ニ別ノ規定ガゴザイマシテ、商工協同組合ハ、勅令ノ定めるところにより、設立ノ登記をする事により成立する。ト云フ明文ヲ置イテ居リマスノデ、設立ノ場合ニ限リマシテハ登記ガ設立ノ要件トナツテ居リマス、此ノ點ハ御話ノ通り從來ノ各種ノ制度ト同様ニ致シテ居リマス、ソレカラ今度出來マスル協同組合ノ法人ノ性質デゴザイマスガ、現在ノ商工組合法ニ依リマスル二ツノ組合制度ガゴザイマシテ、一ツハ統

制組合、一ツハ施設組合デゴザイマスガ、統制組合ノ方ハ専ラ國家的ナ、主トシテ戰時中行ヒマシタ色々ノ統制ノ下請機關ト云フヤウナ恰好ニナツテ居リマシテ、從ヒマシテ非常ニ其ノ統制ノ公的色彩ガ強イ譯デゴザイマスルノデ、現在ノ統制組合ハ公法人的ナ解釋ニナツテ居ルノデゴザイマス、之ニ反シマシテ施設組合ノ方ハ専ラ組合員ノ共同ノ、共通ノ利益ヲ増進スルコトヲ目的トシテナツテ居リマスルノデ、施設組合ハ純然タル私法人、斯様ナ解釋ニナツテ

居ル譯デゴザイマス、今度ノ協同組合モ大體現在ノ施設組合ト其ノ本質ガ同ジデゴザイマシテ、組合員御互同志ノ共同ノ利益ヲ増進スルコトヲ所ガ第一ノ主眼ニナツテ居リマスノデ、是ハ公法人ト謂フコトハ出來ナイイガラウト思ヒマス、矢張り私法人トシテノ取扱ニナルモノト考ヘテ居リマス、唯此ノ場合ニ色々法人ノ分ケ方ト致シマシテ、公法人、私法人ト云フヤウナ分ケ方モゴザイマスルシ、或ハ別個ノ見地カラ公益法人カ營利法人カト云フヤウナ分類マスル分ケ方モゴザイマスガ、公益法人カ營利法人カト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ公益ト云フヤウナ廣イ、公ノ利益ノ目的トシテ居ル譯デハゴザイマセヌデ、組合員ノ共通ノ利益ト云フ所ガ主眼デアリマスルノデ、公益法人ト謂フ

コトハ出來マセヌシ、サウカト申シマシテ、組合ノ事業ハ營利ノ目的トシテ居ル譯デハゴザイマセヌ、組合自身ノ事業ト致シマシテハ、唯利益ヲ追求スルト云フコトハ主眼デハナイ譯デゴザイマスルノデ、營利法人デモナイ、サウ云フコトニナリマシテ、從來學者ノ方々ノ分類ニ從ヒマスレバ、公益法人或ハ營利法人ノ中間ニアル、謂ハバ中間法人トデモ謂フベキ性質ヲ持ツテ居ル法人デアアル、斯様ニ解釋致シテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 御諮リヲ致シマスガ、御質問ハ最初總括的御質問ヲ 賜ヒ致シマシテ、其ノ上デ各章毎ニ順フ追ツテ御質問ヲ進メルト云フ風ニ致シタイト思ヒマス、今日ハ大體、若シモ御質問ガゴザイマスレバ總括的御質問ヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス、チヨット申上ゲマスガ、政府ヨリ色々參考資料ヲ差上ゲル豫定ニナツテ居ルサウデゴザイマスガ、今日午後デナイト間ニ合ハナイサウデアリマス、今日引續キ午後委員會ヲ開催致シマス際ニ、參考資料ヲ差上ゲルコトニ致シマス、ソレデハ午後ニ資料ヲ差上ゲマス前提トシテ、一應色々内容ニ付テ政府委員ノ方カラ御説明ヲ申上ゲルサウデアリマスカラ：

○政府委員(小出榮一君) 資料ガ大體午後ノ會議ニハ間ニ合ヒマスガ、其ノ前ニ御配リ致シマス豫定ニナツテ居リマス資料ノ大體ノ内容ニ付キマシテ、豫メ御説明申上ゲタイト思ヒマス、御配リ致シマス資料ハ第一ニ府縣別ノ商工組合ノ設立狀況ノ調査デゴザイマス、是ハ商工組合中央會ノ調査ニ基キマシテ、本年ノ三月三十一日現在デ、全國ノ組合ノ設立狀況ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フ調査デゴザイマシテ、三月末ト申シマスレバ大分前デゴザイマスガ、其ノ後大キナ變動ハナイモノト考ヘテ居リマス、寧ロ解散ラシタモノガ段々出テ來テ居ルト云フヤウナ狀況デハナイイカト考ヘテ居リマス、ソレニ依リマス、統制組合ノ全國ニ於ケル數ハ七千六百七十六ト云フ組合數ニナツテ居リマシテ、之ニ對シマシテ、施設組合ハ全國デ六千五百七十七ノ組合ガゴザイマス、合計致シマシテ、一萬三千七百三十三組合ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ全國デ三月末日ノ調査デゴザイマスガ、廣島縣ガケハ回答ガ遅レテ居リマシタ關係上、昨年ノ八月末現在ノ數ニナツテ居リマシテ、廣島縣ハ御承知ノヤウニ罹災ノ激シイ地區デゴザイマスノデ、マダ詳細ノ調査ガ纏ツテ居ナイ狀況デゴザイマス、ソレカラ次ノ資料ハ商工組合ノ戰災狀況デゴザイマスガ、組合ノ中デ、是モ同ジク中央會ノ調査ニ基キマシテ、四月末日ノ調査デ、組合ノ

戰災ヲ受ケマシタ狀況デゴザイマ
スガ、是ハ約一萬四千ノ組合ニ付
テ調査ヲ致シマシタ處、三千七百
四十六組合ト云フモノガ罹災ヲ致
シテ居リマシテ、罹災ノ率ハ二十
七「パーセント」、全體ノ二割七分
ト云フモノガ戰災ヲ受ケテ居ル
ト、斯ウ云フ風ナ狀況ニナツテ居
リマシテ、其ノ中既ニ復興ヲ致シ
マシタ組合ハ、二千八百二十八組
合アリマス、ソレカラ復興ノ見
込ノナイ組合ト云フモノガ二百八
十三組合ト云フ風ナ狀況ニナツテ
居ル譯デゴザイマス、尙其ノ罹災
ノ組合ノ業種別ノ、工業、商業ノ
内譯デアリマス、罹災致シマ
シタ組合ノ出資總額ト云フ風ナ詳
細ノ内譯ガソレニ附隨致シテ居ル
ヤウナ譯デゴザイマス、アト商工
組合中央金庫等ノ貸付ノ狀況ノ資
料、ソレカラ其ノ中デドレダケ現
在ノ組合ハ返還シタカト云フヤウ
ナ金額ノ調査ヲ御出シスルコトニ
ナツテ居リマス、昭和二十年度末
ノ國民更生金庫カラ組合ガ借入レ
テ居リマス借入金ノ狀況、ソレニ
對スル償還ノ額、償還ノ率ト云フ
ヤウナ資料デゴザイマシテ、現在
迄ノ共助資金ノ借入總額ハ七億四
千六百萬圓、之ニ對シマシテ償還
額ハ二億五千四百萬圓デゴザイマ
シテ、現在迄ノ償還率ハ三十
「パーセント」ト云フ風ナ狀況ニ
ナツテ居リマス、大體サウ云フ風
ナ資料ガ主ナモノデアツタト考ヘ

テ居リマス、尙詳細ハ更ニ午後御
配リ致シマス資料ニ付キマシテ御
質問ガアツタ際ニ御答ヘ致シマス
○子爵交野政邁君 商工協同組合
ト今度出來マス商工會議所ノ關係
ハドウ云フ風ニナリマス、其ノ
點ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト
思ヒマス
○政府委員(吉田悌二郎君) 新シ
ク出來マス商工會議所ノ會員ノ
組織ニ付キマシテハ一應是ハソレ
ゾレノ會議所ノ任意ニ委シテゴザ
イマスケレドモ、大體ハ其ノ管内
ニ於キマスル所ノ、地區内ニ於キ
マスル所ノ商工業者ノ御方及ビサ
ウ云フ方々ヲ以テ組織サレルヤウ
ナ團體ヲ含メル積リデアリマス、
從ヒマシテ商工協同組合モ之ニ組
合ト致シマシテ參加スルヤウナ
方針デ行キタイト思ヒマス

○吉田久君 先程御話ガアリマシ
タ此ノ參考資料デゴザイマスガ、
實ハマダソレ等ノ資料ガアリマセ
ヌ爲ニ準備ガ能ク出來テ居リマセ
ヌノデ、如何デゴザイマセウカ一
ツ本日ハ此ノ程度デ續行ヲ御願ヒ
出來ナイモノデゴザイマセウカ、
參考資料ヲ能ク拜見シタ上デ審議
ヲ致シタイト思ヒマス
○委員長(男爵肝付兼英君) 如何
デゴザイマセウカ、ソレデハ本委
員會ハ午後一時カラ再會致スコト
ニ致シマシテ、一應是デ休館致ス
コトニ致シタイト思ヒマスガ、
○吉田久君 ソレ迄ニ參考資料ヲ

頂戴シテ直グ調べガ出來ルデゴザ
イマセウカ
○委員長(男爵肝付兼英君) 政府
ノ方ハ一時迄ニハ間ニ合セルト申
シテ居リマスガ、只今本省メ方ヘ
取りニ行ツテ、出來ルダケ早ク御
配リスルサウデゴザイマスガ、時
間ガ相當掛リマスノデ、皆様ノ御
部屋ノ方ヘデモ差上ゲルコトニ致
シマスカラ、ソレデ御準備ヲ願フ
ト云フ意見ヲ申出デ居リマスガ、
如何ナモノデゴザイマセウカ、大
體政府ノ方デハ本日午後一時カラ
開會スルモノト豫定ヲ致シテ居ツ
タラシイノデゴザイマスガ、チヨ
ウト手許ガ狂ツタヤウデゴザイ
マス
○中田黨君 大體是ハ本案ハイッ
頃迄ニ審議ヲ終ルト云フ御見込ナ
ンデスカ、政府ハ御急ギデスカ
○委員長(男爵肝付兼英君) 只今
大臣ニ伺ヒマシタガ、別段急ガナ
ケレバナラスト云フ理由ハナイサ
ウデアリマス
○中田黨君 ソレナラバ私共モ内
容ヲ拜見シテ居ラナイノデアリマ
スカラ、セメテ今日午後位ニデモ
資料ヲ持テ歸リマシテ、十分研究
シタイト思ツテ居ルノデゴザイマ
スガ、如何ナモノデゴザイマセウ
○委員長(男爵肝付兼英君) 只今
ノ御提案モゴザイマシタヤウナ次
第デゴザイマスガ、別段總括的ナ
御質問デモゴザイマセヌケレバ、
參考資料ヲ御手許ニ配リマス迄休

憩ヲ致シタラ如何デゴザイマセ
ウ、總括的ナ御質問ガゴザイマス
レバ、ドウゾ
○石川一郎君 今中小商工業ノ金
融ハ、今度ノ復興金庫モ出來マス
シ、商工組合中央金庫モアリマス
ガ、ドウ云フ風ナコトニナリマス
御見込デゴザイマセウ
○政府委員(吉田悌二郎君) 從來
中小商工業ノ特別ナ金融機關ト致
シマシテハ商工組合中央金庫、只
今資料ニ付テ貸出ノ狀況モ御説明
致シマスルガ、是ガゴザイマシテ、
所謂組合金融ト云フコトデ中小商
工業者ニ對シマシテ金融ヲ致シテ
居ツタ譯デアリマス、勿論此ノ制
度十分デハナカツタノデアリマ
シテ、中小商工業者トシテハ普通
銀行モ利用サレテ居リマシタシ、
或ハ市街地信用組合等ノ資金モ吸
收セラレテ居ツタヤウデアリマ
ス、今度金融ニ對シマシテ斯ウ云
フ措置ガ執ラレマシタニ付キマシ
テ、商工省ト致シマシテモ特別ナ
金融ニ付テ色々考ヘタイト存ジテ
居ツタノデアリマスガ、一應此ノ
際ハ復興金庫ト云フモノデ金融
融ノ關係ヲ全部統一スルト云フコ
トニナリマシテ、中小商工業者ニ
對シマスル金融モ此ノ復興金庫金
庫ガ一應之ヲ賄フト云フ建前ニナ
リマシテ、今日ト致シマシテハ復
興金庫金庫ノ資金ヲ矢張り中小商
工業者ノ爲ニモ使フト云フ建前ヲ
採ツテ居ルノデアリマス、其ノ貸

出ノ方法ト致シマシテ、復興金融
金庫ト云フヤウナ大キナ産業ヲモ
相手ニスル金融機關デハ手數ノ掛
リマス中小商工業者ニ十分滲透シ
ナイト云フ處ガアリマスノデ、取
敢ズノ問題トシテハ從來ノ商工組
合中央金庫ニ所謂代理業務ヲサセ
ルコトニ致シマシテ、復興金融金
庫ノ資金ヲ融通スルト云フ途ヲ今
考ヘテ居ルノデアリマス尙普通銀
行モ復興資金ニ付キマシテハ之ヲ
融通シ得ル途ガ色々考ヘテ居ラレ
ルヤウデアリマスカラ、從來普通
銀行ト取引ノアリマシタ中小商工
業者ノ方ハ、普通銀行ヲ通ジマシ
テ日本銀行ニ申出ラシテ復興資金
ノ供給ガ出來マスシ、サウ云フ普
通銀行ト取引ノアリマセヌデシタ
業者ノ方ハ、今日トシテハ商工組
合中央金庫ニ申出マシテ、五十萬
圓以內ノ資金ニ付キマシテハ組合
ニ復興資金ヲ貸付ケテ組合員ニ更
ニ之ヲ融通スルト云フ建前ヲ採ツ
テ居リマス、將來ノ問題トシテハ
色々又金融機關ヲ考ヘネバナラ
スト思ヒマスガ、取敢ズノ問題ト
シテハ金融機關ト致シマシテハ只
今申上ゲマシタ「ルート」ダケデゴ
ザイマス、尙別途今日衆議院ニ提
出セラレマス所ノ産業復興團體ト
云フ法律ガゴザイマス、是ハ直接
金融ヲ致シマスル機關デハゴザイ
マセヌガ、工業關係ノ設備ヲ造リ
マシテ、之ヲ中小商工業者ニ貸付
ケルコトヲ一部ノ仕事トシテ豫定

ヲ致シテ居リマス、主トシテ狙ツテ居リマスノハ共同設備等ヲ營團ニ造リマシテ貸付ヲスルト云フヤウナコトヲヤリタイト思フテ居リマシテ、是ガ一部ノ資金融通ノ代リニナルコトト考ヘテ居リマス、サウ云フ程度デ一應金融ノ梗塞シテ居ル時代ノ中小商工業者ノ爲メノ資金係通ノ便宜ヲ圖リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○石川一郎君 中小商工業ト云フモノハ今ドウ云フ風ナ定義ニナツテ居ルカ、ソレモ伺ヒタイ、中小商工業ト云フモノハドウ位ノ規模ノモノヲ言フカト云フコトデスガ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ只今御話ノゴザイマシタ商工組合中央金庫ヲシテ代理セシムルト云フコトハ、責任ハ復興金庫ノ方ニゴザイマス、或ハ商工組合中央金庫ノ方ニゴザイマス、貸倒レトカ何トカ云フ場合デス

○政府委員(吉田悌二郎君) 後ノ方ノ御質問、責任ノ問題デゴザイマスガ、是ハ勿論商工組合中央金庫ハ代理業務ガゴザイマスカラ、貸倒レ等ノアリマシタ場合ニ責任ト申シマス、損失ハ復興金融金庫ガ負フ譯デゴザイマス、責任ハ全然復興金融金庫ニアルト云フ譯デゴザイマス、最初ノ中小商工業、特ニ中小工業ノ定義ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、是ハ非常ニムヅカシイ分類デゴザイマシテ、大分前カラ色々ト論議サレテ居ツタ

ノデゴザイマス、資本金デ區分致シマスルモノ或ハ生産能力デ線ヲ引カウト致シマスルモノ或ハ使用ノ職工數デ制限ヲスルト云フヤウナモノ、色々ナ分類ガアツタヤウデゴザイマス、併シナガラ此ノ中小商工業ト申シマシテ色々政策ヲ實施致シマスル場合ノ目的ニ依リマシテ、其ノ範圍ハ非常ニ廣イ差ヲ以テ動イテ居ルヤウデゴザイマス、或ハ職工數デ申シマス、或ハ五百人ヲ單位ニ致シマスモノ、或ハ二百人デ宜イト云フモノ、色々ナ説ガゴザイマスノデアリマスガ、此ノ明確ナ線ト云フモノハナカナカ引キニクイト考ヘマス、要スルニ大工業ト云フモノト中小商工業ト此ノ二ツノ觀念ヲ對立サセテ考ヘマス、何カ漠然トシテ其處ニ線ガ引ケサウデアリマスガ、サラバト言ツテ之ガ中小商工業ノ線ダト云フ斷然タル線ハナカ

ムヅカシイノデゴザイマス、産業ノ種類ニ依リマシテモ假ニ、使用人ト云フコトデ分ケマス、化學工業ナドニ於キマシテハ割合ニ少イ人デ大キナ工業ガゴザイマシテ、綜合致シマスルト、機械工業ニハ千人、二千人ノ工員ガ居リマスノデ明確ナ線ハゴザイマセヌ、中小商工業ニハ唯特有ナ特徴ガアルト云フコトヲ取リマシテ、色々施策ハ考ヘテ居リマス、ドウモ線ニ依リマシテハツキリト斷然タル線ヲ引イテノ區別ト云フノハ非常

ニムヅカシイノデゴザイマシテ、從ヒマシテ商工協同組合モ中小商工業者ノ組合トシテ考ヘテ居ル譯デゴザイマスガ、此處カラハ組合ヲ作ツテハイカスト云フヤウナ線ハ引キニクイトデアリマス、大體ハ從來一番多イ例デ申シマス、職工數デ申シマス五百人ト云フノガ一番多ウゴザイマス、工員ノ數デ百人カラ五百人位ノ中ト見ル位ノ見方ガアツタヤウデアリマス、資本金ニ付キマシテ百萬圓ヲ限度トスルト云フヤウナコトモアツタヤウデゴザイマス、色々ゴザイマス、是ハ段々經濟狀況モ變ツテ參リマス、其ノ線モ非常ニ不明確ニナツテ來ルヤウデゴザイマス、要シマスニ正確ナ線ハ確定シテ申上ゲルコトハ非常ニ困難デアラウト考ヘマス

○石川一郎君 只今ノ御話デ、我モドウモ中小商工業ト云フノハハツキリ分ラナイノデアリマス、ソレヲ分ラナイデ斯カルコトヲ申上ゲテドウカト思フノデアリマスガ、唯實ハ金融方面ハ是カラ復興金庫モ出來マス、斯ウ云フモノノ組織ガ出來テ相當放活ニ行クヤウニナルノデハナイカト思フノデゴザイマスケレドモ、唯中小商工業ニ對スル資材ノ問題デゴザイマスガ、今市點産業或ハ國家トシテ最モ今必要デアル石炭トカ肥料ト云フモノデサヘモ十分資材等ガゴザイマセヌ時ニ中小商工業ニ對ス

ル資材面ノコトハドウ云フ風ニナル御積リデアルカ、ドウモ之ヲハツキリセヌト、色々ナ政策、其ノ他新聞等ニモ出テ居リマス中小工業ヲ育成スルト云フヤウナ御話ガアリマスケレドモ、育成ガ果シテ出來ルノカト云フコトヲ實ハ心配シマシテ居ルノデゴザイマスガ、今中小商工業デ相當活潑ニ動イテ居ルモノガアルノデゴザイマスガ、或ハ手持デアルトカ、或ハサウ申シテハナシデアアルガ、闇相場デ材料ヲ得ルト云フヤウナコトモアルト思フテ居リマス、正常ニ斯カル中小工業ト云フモノハ今ノ原材料ノ關係デウマク動クヤウナ御見込ハアルカ、又ソレヲドウ云フ風ニ育成ナサルノカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 今後日本ノ産業規格ト致シマシテ、中小工業ト云フモノガ非常ニ多クナルト云フコトヲ政府モ豫メ申上ゲテ居リマス、恐ラクサウナツテ來ルダラウト考ヘテ居リマス、財閥ノ解體ナリ、其ノ他色々ノ政府ノ施策ノ上カラ申シマス、中小工業ト云フモノガ廣イ分野ヲ占メルト云フコトハ間違ヒナイ所デゴザイマス、其ノ資材ヲドウスルカト云フ御話デゴザイマスガ、現在ノ狀況カラ申シマス、中小商工業的確ニ資材ヲ持ツテ居リマスモノハ所謂重點的ナ産業トシテ取扱ツテ居ル分ダケデゴザ

イマシテ、例ハ農業機具ト云ツタヤウナ工業デアリマスガ、中小工業デヤツテ居リマス、寧ろ大工業ガ少イ、斯ウ云フモノニハ政府ハ特別ノ需給計畫ノ枠ヲ設ケマシテ、其ノ資材ノ配給ヲ致シテ居リマス、ソレ以外ノモノニ付キマシテハ所謂重點産業ニ屬スルモノガ少イノデゴザイマシテ、唯一ツ御承知カト思ヒマスガ、進駐軍ノ住宅兵舍等ヲ造リマス爲ニ、所謂進駐兵付ケマシテ、特別ニ資材ヲ配給致シテ居リマス、是ハ家具「テーブル」サウ云フモノカラ致シマシテ、建築用ノ色々ナ道具ニ至リマス迄、隨分所謂中小工業ノ手ヲ煩シテ居リマス、其ノ方ノ資材ハ相當的確ニ廻ツテ居ルト考ヘマス、ソレ以外ノ所謂小サイ人達

ノ資材ト云フモノハ、所謂手持資材ガ資材デアリマシテ、政府ガ特ニ賄ツテ居ルト云フモノハ却テ少イカト思ヒマス、唯其ノ中デモ所謂輸出品デアリマスモノ、所謂見返リ物資ト云フモノノ生産ニ付キマシテハ、是ハ資材等モ考ヘテ居リマス、又斯ウ云フ所謂輸出品ナリ見返リ物資ヲ造リマスモノハ主トシテ中小工業ノ部類ニ屬スルモノガ多イノデゴザイマス、今後輸入ヲ圖リマス爲ニ輸產業ヲ段々殖ヤシテ行ク譯デアリマスガ、輸出品ノ加工ヲ致シマス工業ト云フモノハ主トシテ中小工業、戰前モサウデアツタノデアリマス、戰前モ

イマシテ、例ハ農業機具ト云ツタヤウナ工業デアリマスガ、中小工業デヤツテ居リマス、寧ろ大工業ガ少イ、斯ウ云フモノニハ政府ハ特別ノ需給計畫ノ枠ヲ設ケマシテ、其ノ資材ノ配給ヲ致シテ居リマス、ソレ以外ノモノニ付キマシテハ所謂重點産業ニ屬スルモノガ少イノデゴザイマシテ、唯一ツ御承知カト思ヒマスガ、進駐軍ノ住宅兵舍等ヲ造リマス爲ニ、所謂進駐兵付ケマシテ、特別ニ資材ヲ配給致シテ居リマス、是ハ家具「テーブル」サウ云フモノカラ致シマシテ、建築用ノ色々ナ道具ニ至リマス迄、隨分所謂中小工業ノ手ヲ煩シテ居リマス、其ノ方ノ資材ハ相當的確ニ廻ツテ居ルト考ヘマス、ソレ以外ノ所謂小サイ人達ノ資材ト云フモノハ、所謂手持資材ガ資材デアリマシテ、政府ガ特ニ賄ツテ居ルト云フモノハ却テ少イカト思ヒマス、唯其ノ中デモ所謂輸出品デアリマスモノ、所謂見返リ物資ト云フモノノ生産ニ付キマシテハ、是ハ資材等モ考ヘテ居リマス、又斯ウ云フ所謂輸出品ナリ見返リ物資ヲ造リマスモノハ主トシテ中小工業ノ部類ニ屬スルモノガ多イノデゴザイマス、今後輸入ヲ圖リマス爲ニ輸產業ヲ段々殖ヤシテ行ク譯デアリマスガ、輸出品ノ加工ヲ致シマス工業ト云フモノハ主トシテ中小工業、戰前モサウデアツタノデアリマス、戰前モ

恐ラク五割六割、過半数ノモノハ所謂中小工業ノ手ニナツタ物ヲ輸出シテ居ツタ譯デゴザイマス、今後ノ輸出品モサウ云フ形、ソレ以上ノモノヲ以テ中小工業ガ大キナ分野ヲ占メルモノト考ヘマス、從ヒマシテ輸出ニ對シマスル資材ト云フモノハ特別ノ考慮ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、特ニ輸出ニ付キマシテハ輸入原料ヲ使ツテ加工ヲ致シマスモノガ多イノデゴザイマス、纖維ナド一番多イ例デアリマス、纖維ノ加工、絲ヲ紡ギマス迄ハ、是ハ大工業デアリマスガ、織布部分、之ヲ布帛加工致シマス部分、或ハ染色整理ト云ツタヤウナモノ、或ハ「メリヤス」ヲ編ミマスル仕事ハ中小工業ガ壓倒的ニ多イノデゴザイマシテ、サウ云フ部分ニ付キマシテ輸入ニ依ル原料ノ確保ト云フコトガ相當望ミガアラウト申シテ宜カラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ漸次中小工業ニ對スル資材ト云フモノハ段々メドガ付イテ行ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、唯鋼材或ハ化學製品等ニ付キマシテハ今後ノ石炭ノ増産ト睨ミ合セテ考ヘナケレバイカヌノデゴザイマシテ、國內的ニ見マス、サウ急速ニ澤山ノ供給力ガ出來ルモノト考ヘラレマセヌ、從ツテ是等ノ部分モ出來得レバ輸入ニ依ツテ輸出用ノ原料ハ確保シタイト思ヒマス、輸出用ヲ造レル限度ニ於テハサウ云フモノヲ何トカ供給致

シマシテ事業ガ繼續出來マスヤウニ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シナガラ仰セノ通り此ノ方面ニ於キマシテハ中小工業ノ資材ト云フモノハサウ急ニ樂ニナルト云フ狀況デゴザイマセヌ、寧ロ此ノ半年或ハ一年後ニ於テハ相當窮屈ナ狀況ニナルノデヤナイカト考ヘマス、主トシテ纖維方面或ハ木工方面デ相當ノ分野ヲ開拓スルト云フコトガ希望ガ持テルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

マシテモ、其ノ實行上ハナカ／＼ムツカシカラウト思フノデアリマス、從ヒマシテ資材ヲ分チマスル場合ニ、是ハ經濟安定本部デ根本的ノ方針ハ御決メニナル譯デアリマスガ、其ノ際ニハ何ト申シマスカ、斯ウ云フ梓ノモノニ對シテハドレ位ノ「パーセンテージ」ヲ大體ヤルト云フヤウナ、實行上ノ案ヲ考ヘテヤルヨリ致シ方ナイト思ヒマス、梓ト致シマシテ線ヲ引キマスルト、非常ニ融通ノムツカシイ困難ナ問題モ出來マスルノデ、サウ云フ分野、例ヘバ組合ヲ作ルモノ、或ハ組合以外ノ大キナ業者ダケノモノガ出來テ居ルト云フヤウナ、分野ガハツキリ致シテ居ルモノニ付キマシテハ、サウ云フ實施モ可能デゴザイマスガ、業者モ一本ニナツテ居ルヤウナモノニ付キマシテハ、マア商工省、農林省等、色々製造工業者ニ對シテ監督致シテ居ル官廳ガ、實際上ノ運用ト致シマシテ之ヲ御進メヲスルト云フコトデアラウカト思ヒマス、物資動員計畫ノ中ノ梓トシテ確定スルト云フコトハ、ナカ／＼ムツカシイト思ヒマスガ、サウ云フコトデ成ルベク中小工業ノ資材ノ確保ヲ圖ツテ行キタイト考ヘマス、主トシテ中小工業ノ造リマス物ハ、國民ノ生活必需品デアリ、大工業ノ資材ト云フモノガ多イノデゴザイマスカラ、基礎的ナ資材ノ方面ニ

付キマシテハ、寧ロサウ云フ設備ノ復興ト云フ風ニ資材ヲ重點的ニ造ツテ行ク時代デゴザイマスノデ、之ニハ矢張り相當ノ資材ヲ廻シテ行カナケレバナラヌ、將來ノ生産ヲ伸バス意味カラ申シマシテ、相當ニハ重點ヲ置イテ資材ヲ配給ヲシテ行クベキモノト考ヘマスルノデ、矢張り此處一年二年ト云フモノノ間ニ於キマスル資材ノ配給ハ、何ト申シマシテモ、基礎資材ノ復活ト云フコトニ重點ヲ置キ、國民生活一般ノ爲ニ對スル資材ノ配給ト云フモノハ、矢張りサウ多クノモノヲ期待ハ出來ナイ、併シ少イナガラ之ヲ中小工業ノ少クトモ現在アルモノヲ活カス形ニ於テ分ケテ行クト云フ意味デ、サウ云フ一種ノ梓ヲ考ヘマシテ、ソレゾレノ官廳ガ公示スルト云フコトハ結構ダラウト思ヒマスシ、私共サウ云フ風ニ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○石川一郎君 中小工業ニ對スル不足物資ノ梓ヲ政府ノ方デ御作りニナル譯ニ行カナイモノカ、ホンノ僅カノ梓ノモノヲヤルト云フコト、サウ云フ風ナ、勿論品物ノ日本デ要ル程度、重要サニ依ツテモ違ヒマスケレドモ、サウ云フヤウナコトガキツチリト段々ト育成シテ行クト云フヤウナコトニ參ラナイデセウカ

○子爵交野政連君 只今ノ御質問ニ關聯致シテ居リマスガ、資材ノ配給ノ點ニ於キマシテ、纖維工業ノ如キハ、現在所有シテ居リマス機械ニ配給ノ量ガ付イテ居ルヤウデゴザイマスガ、今後モソレヲ繼續セラレル御積リデアリマスカ、又全然新タニ配給ノ方法ヲ御考ニナルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 現在纖維ノ資材配給、絲ノ配給ノ基準ト申シマスルモノハ、或ハ綿ノ配給ノ基準ト申シマスルモノハ、仰セノ通り、設備ニ依ツテ基準ヲ決メテ居リマス、是ガ一番何ト申シマスカ公平ダラウト云フコトデ、戰時中デゴザイマシタガ、纖維一臺ニ絲何「ポンド」ト云フ割當ヲ致シテ居ツタノデゴザイマス、之ニ代ルベキ方法ト申シマシテモ、統制ノ最初ニ於テハ實績主義ヲ採ツテ居ツタノデゴザイマスガ、サウ致シマス、非常ニ不公平ガ出來マシテ、又纖維等ノ整備ヲ致シマシタ時ニ非常ニヤリニクイヤウナコトニナリマシタノデ、要スルニ纖維一臺ニ付テ何「ポンド」ト云フ、所謂纖維ノ型等ニ依ツテ能力モ違ヒマスガ、大體能力ヲ加味致シマシタ纖維一臺當リノ製造能力ト云フモノヲ算出致シマシテ、ソレヲ基礎ニ割當ヲ致シテ居リマス、恐ラク今後モ矢張りサウ云フ織機或ハ紡機ト云フモノガ基準ニナツテ割當ヲ續ケテ行クモノト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ纖維再建委員會ノ方デ目下審議中デアリマスガ、其ノ結論ハドウナルカ未ダ豫想出來マセヌガ、恐ラク纖維ニ付キマシテハサウ云フ設備ニ依ルモノガ一番公平デアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵交野政連君 大體只今ノ御説明デ能ク了解致シマシタガ、空襲中ニ大多數ノ工場其ノ他ガ罹災

マシテモ、其ノ實行上ハナカ／＼ムツカシカラウト思フノデアリマス、從ヒマシテ資材ヲ分チマスル場合ニ、是ハ經濟安定本部デ根本的ノ方針ハ御決メニナル譯デアリマスガ、其ノ際ニハ何ト申シマスカ、斯ウ云フ梓ノモノニ對シテハドレ位ノ「パーセンテージ」ヲ大體ヤルト云フヤウナ、實行上ノ案ヲ考ヘテヤルヨリ致シ方ナイト思ヒマス、梓ト致シマシテ線ヲ引キマスルト、非常ニ融通ノムツカシイ困難ナ問題モ出來マスルノデ、サウ云フ分野、例ヘバ組合ヲ作ルモノ、或ハ組合以外ノ大キナ業者ダケノモノガ出來テ居ルト云フヤウナ、分野ガハツキリ致シテ居ルモノニ付キマシテハ、サウ云フ實施モ可能デゴザイマスガ、業者モ一本ニナツテ居ルヤウナモノニ付キマシテハ、マア商工省、農林省等、色々製造工業者ニ對シテ監督致シテ居ル官廳ガ、實際上ノ運用ト致シマシテ之ヲ御進メヲスルト云フコトデアラウカト思ヒマス、物資動員計畫ノ中ノ梓トシテ確定スルト云フコトハ、ナカ／＼ムツカシイト思ヒマスガ、サウ云フコトデ成ルベク中小工業ノ資材ノ確保ヲ圖ツテ行キタイト考ヘマス、主トシテ中小工業ノ造リマス物ハ、國民ノ生活必需品デアリ、大工業ノ資材ト云フモノガ多イノデゴザイマスカラ、基礎的ナ資材ノ方面ニ

○政府委員(吉田悌二郎君) 工業製品ニ付キマシテ、今後物資需給計畫ヲ作ル譯デゴザイマス、其ノ場合ニ、其ノ部門ニ付テハ、是ハ中小工業ニ分ケル部門デアル、是ハ大工業デ造ル部門デアルト云フ風ニ梓ヲ作ルト云フコトハ、是ハ考ヘラレヌコトハナイノデゴザイマスガ、先程モ御尋ニナリマシタヤウニ、中小工業ト云フモノノ分野ガ、非常ニ線ガ引キニクイヤウナ狀況デゴザイマス、從ヒマシテ是ガ中小工業ト云フ風ニ梓ヲ決メ

○子爵交野政連君 只今ノ御質問ニ關聯致シテ居リマスガ、資材ノ配給ノ點ニ於キマシテ、纖維工業ノ如キハ、現在所有シテ居リマス機械ニ配給ノ量ガ付イテ居ルヤウデゴザイマスガ、今後モソレヲ繼續セラレル御積リデアリマスカ、又全然新タニ配給ノ方法ヲ御考ニナルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 現在纖維ノ資材配給、絲ノ配給ノ基準ト申シマスルモノハ、或ハ綿ノ配給ノ基準ト申シマスルモノハ、仰セノ通り、設備ニ依ツテ基準ヲ決メテ居リマス、是ガ一番何ト申シマスカ公平ダラウト云フコトデ、戰時中デゴザイマシタガ、纖維一臺ニ絲何「ポンド」ト云フ割當ヲ致シテ居ツタノデゴザイマス、之ニ代ルベキ方法ト申シマシテモ、統制ノ最初ニ於テハ實績主義ヲ採ツテ居ツタノデゴザイマスガ、サウ致シマス、非常ニ不公平ガ出來マシテ、又纖維等ノ整備ヲ致シマシタ時ニ非常ニヤリニクイヤウナコトニナリマシタノデ、要スルニ纖維一臺ニ付テ何「ポンド」ト云フ、所謂纖維ノ型等ニ依ツテ能力モ違ヒマスガ、大體能力ヲ加味致シマシタ纖維一臺當リノ製造能力ト云フモノヲ算出致シマシテ、ソレヲ基礎ニ割當ヲ致シテ居リマス、恐ラク今後モ矢張りサウ云フ織機或ハ紡機ト云フモノガ基準ニナツテ割當ヲ續ケテ行クモノト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ纖維再建委員會ノ方デ目下審議中デアリマスガ、其ノ結論ハドウナルカ未ダ豫想出來マセヌガ、恐ラク纖維ニ付キマシテハサウ云フ設備ニ依ルモノガ一番公平デアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵交野政連君 大體只今ノ御説明デ能ク了解致シマシタガ、空襲中ニ大多數ノ工場其ノ他ガ罹災

ヲ受ケテ、此ノ機械ニ對スル配給ト云フコトニナリマス、燒ケタ機械ヲ持ツテ居テモ、權利ガアルト云フヤウナ非常ナ不公平、又其ノ組合ノ精神ニソグハナイヤウナ點ガアルヤウニ考ヘラレマス、其ノ點ハ御考ヘゴザイマセヌカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 詳細

ノ點ハ午後デモ纖維局長ガ參リマシテ能ク御答ヘ致スコト思ヒマス、恐ラクサウ云フ燒ケタ機械ハ配給ノ割當ノ基準ニナツテ居ナイカト思ヒマスガ、ソコハ再建委員會ノ方向等ヲ纖維局長カラ申上ゲマス

○秋田三一君

中小工業ト貿易トノ關係ニ付テハ、今チヨツト工業ニ付テハ見返リ品ノ生産其ノ他ニ依ツテ貿易ニ關係スルコトガアリマスガ、商業ノ方ニ於キマシテ貿易ト關係ヲドウ云フ風ニ持チマス力、又貿易其ノモノガ現在デハ變態デアリマスガ、是等ノ見透シト、中小ノ商業ト貿易トノ關係ヲ一ツ御話シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君)

戰爭前迄ハ所謂問屋ガアリマシテ、中小工業ニ色々ナ資材ヲ供給シ、製品ヲ買上ゲマシテ之ヲ貿易商ニ持ツテ來ルト云フコトデ、商業者ガ中心ニナリマシテ輸出品ハ製造サレテ居ツタヤウデアリマスガ、普通ノ雜貨工業、纖維工業ハ皆サウ云フ形デアツタヤウデアリマスガ、併シナガラ戰時中ノヲ統制致シマ

シテ、段々纖維品等ニ於キマシテハ所謂「リシク」制ヲ執リマシテ紡績業者ヲ中心ニ織物等モ取引ガ行ハレマシテ此ノ問屋ノ地位ガ段々何ト申シマスカ影ガ薄クナツテ參ツタノデアリマスガ、戰後ニ至リマシテ完全ニ其ノ貿易ト云フモノハ聯合軍ノ管理ニナリマシテ、所謂商業者ト云フモノノ活動ノ餘地ガナイ今日ノ狀況ニナツテ居リマス、併シナガラ此ノ貿易管理ノ狀況ト云フモノハ、是ハ恐ラク長イ間續クモノデハナイト思ヒマス、和條約モ出來マスレバ、段々日本ガ獨立シタ、或制限ハ受ケルカモ知レマセヌガ、獨立シタ形ニ於テ貿易ト云フモノガ出來ルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ場合ニハ勿論貿易業者モ復活ヲ致シテ參リマスシ、又貿易業者ト云フモノハ從來ノ問屋ト違ヒマシテ、從來ノ製品、生産ノ過程ニ歸ツテ行クノデハナイカト豫想致シマス、併シナガラ矢張り原料ヲ輸入シテ之ヲ加工シテ出スト云フ形ハ、當分ハ變ラヌコトト思ヒマス、原材料ハ日本デサウ澤山ゴザイマセヌカラ、入レタ原料ノ或程度ハ十分ニ間違ヒナク、國內ニ流サズニ輸出品ニ出スト云フコトヲ確保スル意味ニ於キマシテ、一ツノ統制サレタ取引狀態ガマア持續スルモノト考ヘラレマス、サウ致シマスルト此ノ協同組合等ニ資材ヲ供給致シマシテ、

ソコガ主トシテ中小工業者ノ方ノ團體デアツテ、サウ云フ加工シタ物ガ共同販賣ト云フ形デ貿易業者ノ手ニ必ズ戻ツテ來ルト云フ形ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニ先ツ所謂貿易業者ノ下ニ附イテ居ツタ問屋サン達ハ出來ルナラバ、此ノ協同組合ノ中ニ入ツテ戴キマシテ、從來原材料ヲ買入レテ製造ヲサシテ共同デ買取ツテ行クト云フ形ヲ協同組合ノ中デ、例ヘバ上下ノ關係ノ方ガ一ツノ組合ニ入ツテヤツテ戴キマス、サウ云フ形ガ非常ニ良クハナイカト云フコトデ、此ノ協同組合モサウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、問屋ト工業者ガ一ツノ組合ニ入ル、サウ云フ商工協同組合ヲ考ヘテ居リマス、サウ云フコトデ協同組合ト貿易業者ト云フモノガ直接ニ契約ヲ致シマシテ、貿易業者ガ原材料ノ供給ヲ受ケテ、之ヲ協同組合ヘ流ス、協同組合デハ責任ヲ持ツテ其ノ製品ヲ加工致シマシテ、又元ノ問屋サンニ賣ツテ行クト云フヤウナ形デ、段々統制ト云フモノガ實行サレテ行クノデハナカラウカ、今日ハ貿易廳自身ガヤツテ居リマスガ、段々國家管理ノ貿易ガ解ケマシテ、或統制セラレタ形ノ貿易ト云フモノガ行ハレテ、貿易業者ト云フモノガ恐ラク貿易組合ト云フヤウナモノヲ通ジテ統制サレテ參ルヤウニナリマスレバ、サウ云フヤウナ

形デ商人ノ人々、問屋ノ人々ガ段段力ヲ回復シテ來ル、斯ウ云フ形ニナルデハナイカト考ヘテ居リマス

○秋田三一君

現在デハ貿易廳ガ見返リ物資ノ輸出ニ當リマシテ、其ノ製品ヲ纏メマスノハ工業者ガ直接ニ取纏メテ居リマスガ、或ハ其ノ中間ニ商業者ヲ入レテ、ソレニ纏メサシテ、サウシテ其ノ貿易廳ガソレヲ又輸出ニ振向ケテ居ルヤウナ形ニアルノデスガ、ドウ云フ風ナ...

○政府委員(吉田悌二郎君)

現在デハ形式カラ申シマス、貿易廳ガ直接注文ヲ致シテ居ル形ニナツテ居リマスガ、代行機關ト致シマシテ、從來ノ貿易業者ノ方ヲ矢張り使ツテ居ルヤウデアリマス、代行シテ御纏メヲ願ツテ現物ハ直接政府ガ買入レマス形ニナツテ居リマスガ、實際ノ色々ナ資材等ニ付キマシテモ、代行機關ヲ通ジテヤル、從ツテ獨立シタ仕事デハゴザイマセヌガ、實際上ハ介入シテ居ラレルノデゴザイマス

○秋田三一君

今聯合軍總司令部ノ方デ色々ノ賠償ノ爲ノ設備ヲ撤去シテ居リマスヤウデスガ、サウスルト、ソレニハ殘存ノ日本ノ生産能力ヲ業種別ニ依ツテ、ドノ程度ニ置クト云フ風ニマア標準ヲ立テテ居リマスガ、今後中小ノ工業ガ新タニ起ツテ行キマス際ニハ、其ノ限度ヲ或ハ超エルヤウニナル

カモ分ラナイノデスガ、其ノ邊ノ統制ト言ヒマスガ、基準ハドウ云フ風ニ政府ノ方デ見テ居ラレマスカ、或ハ企業許可ト云フヤウナ方法ニ依ツテマアヤラレル譯デアリマスガ、自由ニ伸ビレバ伸ビルニ委シテ置クト云フ譯デスガ、ドウ云フ御方針デアリマスガ

○政府委員(吉田悌二郎君)

今回ノ賠償ノ實施ニ付キマシテハ、是ハ「ボツダム」宣言ニモアリマスヤウニ、日本ガ生キテ行ク爲ニ最小ノ産業ト云フモノハ是ハ維持サシテヤラウト云フ建前ニナツテ居リマスノデ、今回ノ賠償ノ撤去ニ付キマシテモ、國民生活ノ程度ヲ何處ニ見ルカト云フヤウナ議論ハアリマスケレドモ、或程度自給ヲシ得ルヤウナ形ノ、現在アルモノノ設備ハ殘シテ貰フト云フコトニナツテ居リマス、從ツテ今回産業ニ依ツテソレノ程度ガ決ツテ居リマスルガ、或線ヲ引カレマシテ、ソレ以上ノ設備ハ撤去スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、今後日本ノ産業ガ興リマシテ、其ノ線ヲ超エテ生産設備ヲ殖ヤス場合ニ、ドウ云フヤウナ形デ抑ヘルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ仰セノ通りニ此ノ線ト云フモノハ此處暫クノ間ハ維持シナケレバナラヌダラウト考ヘマス、併シナガラ日本ノ實際ノ狀況カラ申シマス、今回引カレマシタ線ハ、鐵ニシロ、化學ニシロ、原材

料ノ關係カラ行キマシテ、其ノ線ヲ超エテ生産ガ殖ヘルト云フコトハ、恐ラク五六年先ニナルト考ヘマス、從ツテ取敢ズハ特別ノ手ヲ打チマセヌデモ、其ノ點ハ此ノ線ヲ「オーバー」スル程ノ生産ハ期待サレナイノデアリマス、從ツテ今日直チニ政府ト致シマシテ、是レ以上抑ヘルヤウナ特別ナ法制ノ手ハ今考ヘテ居リマセヌ、併シナガラアノ線ト雖モ永久ニ日本ガ超シ得ナイト云フコトデハナイノデアリマシテ、段々日本ノ人口モ又將來ニハ増加スルコトモ考ヘナケレバナリマセヌシ、又日本ノ文化、國民生活ノ水準ト云フモノモ逐次上ツテ宜イノデアリマシテ、日本ノ貿易ノ力ニ依ツテ原材料ガ入り段々産業ガ増加致シマスニ從ツテ、之ニ相應シテ今回賠償ニ取ラレマシタ設備撤去、撤去サレマシタ設備關係ノ産業ニ付テモ伸バシテ行ツテ宜イト思ヒマス、恐ラク聯合軍モ永久的ニ許可制ヲ布クト云フコトデハナクシテ、此處暫ク日本ノ軍事能力ヲ抑ヘテ行クト云フコトデアラウト考ヘマス、從ヒマシテ、是ハマア聯合軍ノ方ノ輿論等ノ問題ニモ關聯スル譯デアリマスガ、サウ云フ輿論ガ緩和致シマシタ後ニ於テハ、アノ線ハ自然ニ突破サレルモノデアラウト考ヘラレマスルノデ、政府ト致シマシテハ取敢ズ其ノ線ヲ抑ヘルヤウナ法制或ハ手段ト云フモノハ直接考

ヘナイ積リデアリマス、一日モ早ク國民ノ努力ニ依ツテ、逐次産業ガ回復致シマシテ、其ノ線ガ段々押拂ハレテ行クヤウニシタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス
○委員長(男爵肝付兼英君) 他ニ御質問モゴザイマセヌケレバ、今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、後程政府カラ參考資料ヲ差上ゲマスカラ、十分御研究願ヒマシテ、次回ハ明朝十時カラ開會致シタイト思ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵肝付 兼英君

副委員長 子爵柳澤 光治君

委員

侯爵佐竹 義榮君

子爵清閑寺良貞君

子爵交野 政邁君

子爵島居 忠博君

中田 薰君

吉田 久君

男爵奥田 剛郎君

結城 安次君

石川 一郎君

高橋龍太郎君

奥 主一郎君

秋田 三一君

橋本萬右衛門君

國務大臣

商工大臣 星島 二郎君

政府委員

商工事務官 吉田悌二郎君

同 小出 榮一君

昭和二十一年十一月十三日印刷

昭和二十一年十一月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局